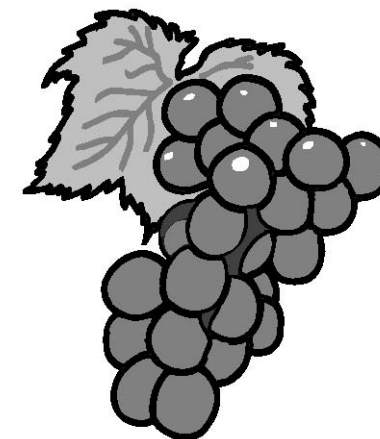
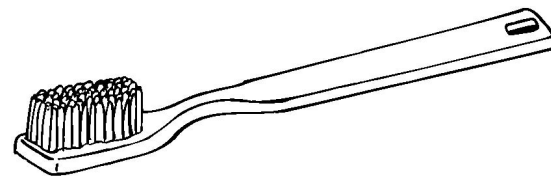
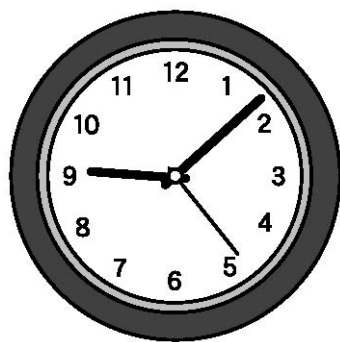
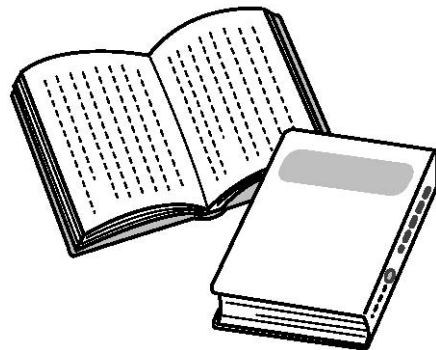
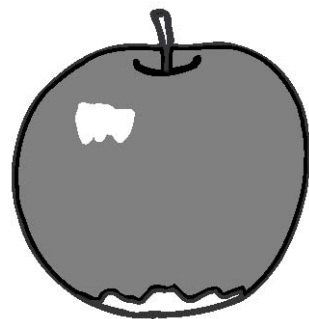


すくすくどんどん プレ編

Bシリーズ 1

ことば - 1

何の絵でしょうか？
指差して、1つずつ、名前を言いましょう。



ちしき - 1

なにを して いる ところですか。えを みて、おはなしを しましょう。



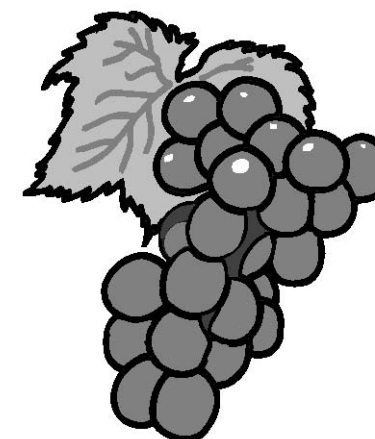
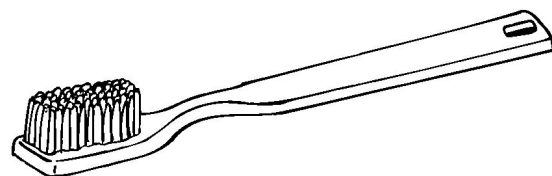
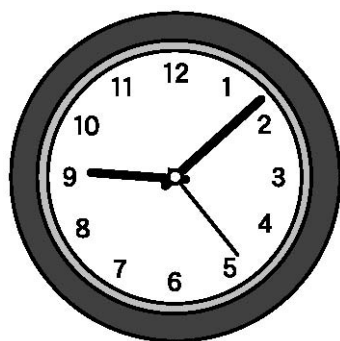
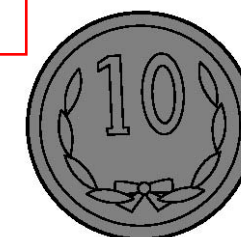
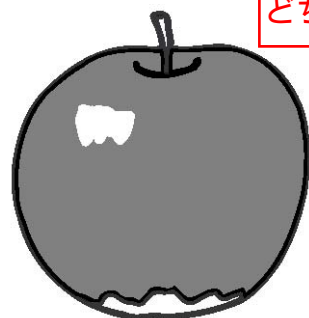
ことば - 1

何の絵でしょうか？
指差して、1つずつ、名前を言いましょう。

左上から順に、りんご、本、10円玉（お金）、時計、（歯）ブラシ、ぶどう

名前が全部言えたら終わりにするのではなく、他の質問をして、会話をしましょう。その中で語彙が膨らみ、また確固としたものになります。

たとえば、りんごやぶどうは何の仲間か、野菜か果物か、どんな味がするか、どちらが甘いか、どちらが好きか？、なぜか？果物には他にどんなものを知っているか？、、、



本にはいろいろな種類があり、大きな本、小さな本、薄い本、厚い本、文字ばかりの本、絵や写真だけの本などなど手近にある実物を見せてあげるといいでしょう。

お金にもお札もあれば硬貨もあり種類も様々あります。10円以外に知っているのは何かな？10円で何が買えるかな？

時計にはデジタルもアナログもあり、置時計や掛け時計、腕時計もありますね。

ブラシにもいろいろな用途がありますね。

このページだけではなく、特に「ことば」のページでは、問題を材料にして子どもと楽しくコミュニケーションしましょう。

ちしき - 1

なにを して いる ところですか。えを みて、おはなしを しましょう。



小中学生で作文がかけない子どもは、「語彙力」が乏しいと言うこともありますが、「感想がもてない」ということも大きな要因になっています。
まず、何が描かれているか「単語」レベルでよいから答えさせましょう。それに動詞を加えて文になるようにしましょう。
「女の子」「女の子が書いている」というように。それにどんどん修飾語をつけていきましょう。
「いすに座った女の子が机の上にノートを開いて鉛筆で楽しそうに何かを書いています」というように。この場合「楽しそうに」というのが感想になります。長い文で説明できないときは「どんな?」とか「どこで?」とか特に5W1Hの発問で助け舟を出してあげるとよいでしょう。慣れてくれば、どんどん自分で言えるようになります。作文が上手な子になりますよ。(つまり賢い子になりますよ)